

広報 いまり

No.416

絵付け一筋に60年

77歳になった今も絵付けの第一人者として筆をにぎり続ける山口長吉さん。(川副青山窯で…関連記事4ページ)

'63

10月

〈人口〉 男29,094人 女32,500人 計61,594人(前月比+43)〈世帯数〉 17,236世帯(9月1日現在)

どう生かしますか (あなたの)



竹の古場公園休憩施設の修理…高齢者就労事業団

平均寿命が大幅に伸びて、人生80年の時代です。60歳で仕事の第一戦から引退したとして、あと20年を、あなたはどのように過ごしますか。家にじっとしている。老人会やゲートボールに毎日出かける。それとも…。

最近の調査では、健康であれば、これまでの経験や技術を生かして簡単な仕事をしたい、という高齢者が増えています。

伊万里では、このような人たちが集まり、老後の人生を社会に役立てようと、シルバー人材センターが来年4月にできる予定です。今月は、センターができる社会的背景やセンターの仕組みを紹介し、長くなる老後の生き方を皆さんと考えてみましょう。

伊万里にもシルバー人材センター

わが国における人口の高齢化は、極めて速いスピードで進み、健康で労働意欲のおうせいな高齢者が増え続けています。これらの高齢者が、平均寿命の大幅な伸びによって長くなる高齢期を、どのように過ごすかが、高齢者自身にとって大きな課題といえます。

高齢者の就業形態に変化

現在の平均引退年齢は62～3歳ですが、本格的な職業生活から直ちに完全な引退生活に入るのではなく、その後も何らかの

仕事に従事しようとする高齢者が増えてい

ます。その就業志向も、朝から夕方までのいわゆるフルタイ

ムの雇用労働からパート雇用労働や自由就業など多様化してきています。

一方、経済社会の進展に伴って、地域において官公庁や民間事業所、一般家庭などで人を新たに雇うより、外部に委託するほうがより効率的である臨時的、短期的な仕事が増加しています。このほか、福祉的な仕事など地域社会に密着し、地域社会に役立ついろんな仕事が出てきています。

このような高齢期の長期化や高齢者の意識の変化、新たな就業の場の存在に対応して、仕事の需給を社会的に調整するシステム（仕組み）が必要になってきています。

●伊万里市の高齢化の推移

区分年	総人口	65歳以上人口	65歳以上の割合	全国の65歳以上の割合	佐賀県の65歳以上の割合
50	60,913人	6,959人	11.4%	7.9%	10.7%
55	61,243	7,789	12.7	9.1	11.8
60	62,044	8,691	14.0	10.3	13.0
63	61,566	9,257	15.0	11.0	14.0

※50、55、60年は国勢調査

※63年(4月1日現在)は、佐賀県統計電算課調べ

シルバー時代

昭和63年10月1日発行

なだらかな 引退の道

そこで考え出されたのが、シルバー人材センターです。高齢者の就業ニーズ（要望）に対応し、高齢者の生きがいの充実を図りながら、仕事の場を提供して活力ある地域社会をつかっていこうというものです。

高齢者の職業生活からの引退の仕方は、①定年などにより、フルタイムの労働生活から直ちに引退生活に入る②パート雇用や自由就業などを経て、労働生活から徐々に引退する。この二つのケースがありますが、高齢化社会が進むにつれて②のケースを望む人が増えつつあります。また、地域社会との結びつき

が薄れている現状の中では、●直ちに職業生活から引退することは、生活の面で急激な変化をもたらす●高齢者の心理状態や家族の生活状態に大きな影響を与えたり●高齢者の生きがいを無くし、活力を失わせ●ひいては地域社会の活力の喪失につながることもなりかねません。

センターは、このような急激な高齢者の生活の変化などの、いわゆる「引退ショック」を和らげ、高齢者の労働生活からの引退過程をスムーズにする役割を持っています。

センターは社団法人

シルバー人材センターは、

(1) 公益的、公共的性格

センターは、高齢者の就業機会の増大を図り、あわせて活力

ある地域社会づくりに貢献するもので、センターは営利を目的とする団体ではなく、公益性、公共性を有しています。

(2) 自主的、主体的団体

組織の運営、仕事の開拓、受注など事業運営は、行政主導的にならず、できる限り会員自ら、その実施に当たること、すなわちセンターは会員の自主的な団体であることが原則です。

(3) 法的性格——社団法人

センターの運営は、基本的には会員の総意により決定され、また実質的にセンターの運営に当たる役員も原則として会員から選出されることになります。これによって会員は、高い参加意識を持つことになります。

このようなことから、現在ある法制度の中では、社団法人方式が望ましいものといえます。

6割の人が、体が動く限り働きたい

労働省は、定年後の高齢者の再就職状況についての初めての本格的調査として、「定年到達者等の60歳代前半期の就職と生活に関する調査研究」を、高年齢者雇用開発センターに委託して行いました。

調査は昨年11月、60～64歳の約3,000人（男性2,680人、女性301人）を対象に行われたもので、全体の4割強の人が再就職して働いていて、男女とも4人に1人が求職中であることがわかりました。

働く理由では「生活に困る」が21.8%、「体や健康によい」が21.1%と分かれています。そして全体の6割の人が「体が動く限り働くのが当然」と高齢者

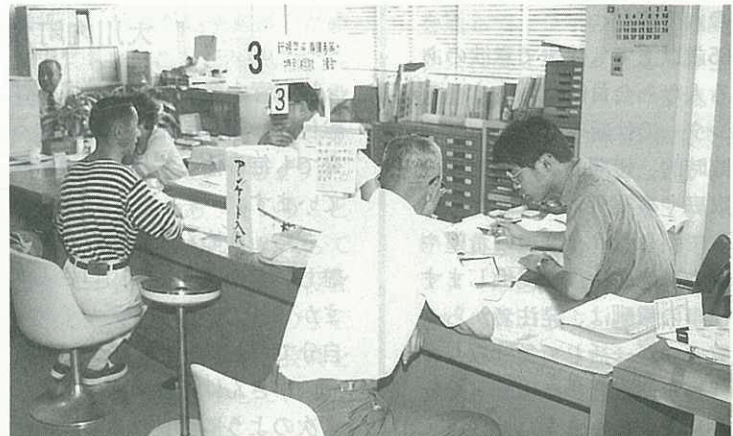
の強い勤労意欲を示しています。その中で、週2～3日の「短週勤務」、1日5～6時間の「短日勤務」、都合のよいときに仕事をする「自由就業」など新しい働き方への志向もうかがえます。

伊万里・西松浦地区の 高齢者雇用状況

従業員63人以上の事業所における昭和63年6月現在の数字

- 事業所数 36事業所
- 総従業員数 6,450人
- 55歳～64歳 635人（9.8%）
- 65歳以上 44人（0.7%）

（資料：伊万里公共職業安定所）



伊万里公共職業安定所での就業相談

来年4月発足予定

能力にあった仕事を提供

社団法人 伊万里市シルバー人材センター(仮称)を設立するためには、法に基づいた基準に従い県知事の指定を受けなければなりません。基準は、法人格をもつ公益的団体で、①会員が150人以上見込めること②会員の年間就業延人員が6,000人以上見込めることとされています。

このため、市福祉事務所が窓口となり今年の8月、シルバー人材センターの設立発起人会を開き、来年4月から事業が開始できるよう準備を進めています。

現在、高齢者や一般家庭、事業所などへアンケート調査を行っていますが、今後加入希望者への説明会や入会申し込みの受け付けなどを進めていくことにしています。

どんな仕組みで 仕事をするのですか

センターの会員は

- 伊万里市に住んでいて
- 原則として60歳以上65歳未満の人ですが
- 65歳以上でも健康で意欲のある人なら会員になれます

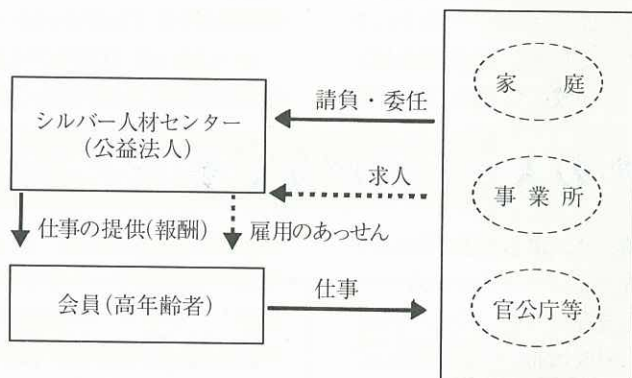
センターの仕組みは

- 臨時的、短期的な仕事を一般家庭や事業所、官公庁から有償で引き受け、会員の希望や能力に応じ仕事を提供します
- 仕事の報酬は、発注者からセンターが一括して受け取り、仕事をした会員に報酬(配分金)を支払います

- センターが引き受けた仕事については、センターが責任を負います
- 仕事を発注した方と会員の間には雇用関係はありません
- 労災保険の適用はありません
- 仕事明けがをしたとき給付を受けられるよう普通傷害保険に加入します
- 生計を維持することを目的として働こうとする人を対象としたものではないので、就労保障や所得保障はありません

センターの主な仕事の内容は
 一般事務…浄書、あて名書き、伝票整理など
 単純作業…庭の掃除、除草、荷作りなど
 技能的な仕事…大工、左官、植木、塗装、仕立てなど
 家庭、社会…留守番、家事手伝い、子守、介護など
 専門技術…税務、経理事務、簿記、校正、設計など
 管理、監視事務…駐車場の管理、公園の監視など

シルバー人材センターの仕組み



休みたいと思ったことはありません

大川内町大川内山 山口長吉さん (77)

川副青山窯で働く山口さんは絵付け一筋に60年。77歳になる今でも毎日休まず歩いて通われています。

きょうめんで仕事は早く、難しいものはすべて山口さんにまかされています。デザインも自分で考えてかかれるそうです。

山口さんは、仕事の手も休めず次のように話されました。

家にいると退屈で、絵付けの仕事をしての方が楽。腰をけがしてから少し痛むは健康で、休みたいと思ったことはありません。ゲートボールもしたことはないですね。

かき始めるときは少し手がふるえますが、かきかかると止まります。絵がきれいに仕上がるので嬉しいですね。

14年間高齢者の就労を確保

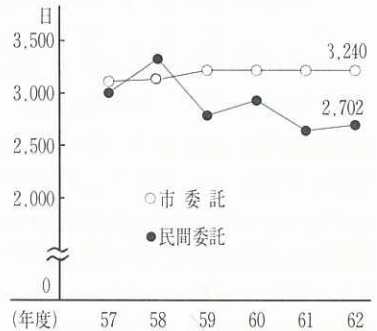
市高齢者就労事業団（協山正一理事長）は、昭和49年から高齢者の就労事業を実施しています。これまでの入団申し込みは、延べ217人、採用人員延べ109人で、現在60歳から72歳までの28人が在籍しています。

民間会社や家庭、官公庁などからの仕事を年間6,000日ほど

引き受けていますが、センター発足を予定してすでに約20人が草取りや設計事務所の浄書事務などの仕事をしています。

事業団は、この14年間、センターの肩代わりの存在として高齢者の就労確保に寄与してきましたが、センター発足で解消されることになります。

◆高齢者就労事業団の就労状況



体が丈夫なうちは働きたい



栄町
梶原 春男
さん (69)

30年近く勤めた料亭をやめて1年後に高齢者就業事業団に入り、今年で4年目になります。1年間仕事をしないで家にい

て、ゲートボールなどをしていましたが、すぐ退屈になって、やっぱり仕事をしていた方がいいですね。家計の足しにもなりますし。シルバー人材センターができればもちろん登録するつもりです。

年とってからの過ごし方は、人それぞれの考え方でしょうが、自分は体が丈夫なうちは働こうと思っています。

仕事だけでなく、仲間とワイワイ話すのも楽しいですよ。それに仕事あがりに飲む一杯の酒が楽しみです。

自分たちのセンターとして気軽に利用を



市福祉事務所
福祉係長
米川 良雄
(52)

人生80年時代を迎えましたが、お年寄りが自信と生きがいを持って生活できる地域社会をいかに築くかが重要になっています。

市は、来年4月の事業開始を目指し、シルバー人材センターの設立準備を進めています。お年寄りの方が、センターの仕事を通して、長年の経験や知識を社会に役立てるとともに、生きがいを高め、お互いの交流を深めることがセンターの目的です。

定年退職された方などが、直ちに引退されることなく、社会の一員として1人でも多く、センターの会員になっていただければと思います。また市民の皆さんには、自分たちのセンターという気持で気軽に利用されるようお願いします。

会員と仕事を増やし長続きするように



市婦人連絡協議会会長
小島 久子
さん (61)

家の棚を作ったり、壁の塗りがえなど、ちょっとした仕事が頼みやすいし、特に一人暮らしの人たちにとって助かるんじや

ないでしょうか。

人材センターに登録した人も自分の能力や時間に合わせてできるし、生きがいや健康のためにととても良いことだと思います。自分の持っている技術が人の役に立てて喜んでもらえる。自分も楽しいんじゃないでしょうか。それに人とふれあうということがいいですね。人の中に入って話をするのはボケ防止にも役立つそうですよ。来年発足の予定ですが、長続きするよう会員を増やし、仕事も増やしていかなければなりませんね。

老人福祉大会 いつまでもお元気で

9月1日、第17回老人福祉大会が市民会館で開かれ、市内の老人クラブから約1,200人が集まり、にぎわいました。竹内市長のあいさつや来賓の祝辞のあと、牧島保育園の松尾謙一くん(6)と森麻衣子ちゃん(6)が「私たちが今あるのは、おじいちゃん、おばあちゃんのおかげです。これからも長生きしてください」とお祝いのことばと花束を贈りました。午前中は、会員発表や講演などがあり、午後からの演芸発表では、歌や踊りなどが披露され、楽しい一日を過ごしました。



謙一くん^①と麻衣子ちゃんから「長生きしてネ」と花束をプレゼント

趣味の作品展



会館ロビーでは、趣味の作品展が開かれ、書、手芸、工芸、陶芸などに137人から186点の作品が寄せられました。なかに

は、とてもお年寄りの作品とは思えない若々しい作品や女人だけの作品もあり、訪れた人たちは「どうして作ったのかな。これが88歳のおばあちゃんの作品！」などと感心しながら熱心に見ていました。

長寿ベストテンは女性ばかり

伊万里市には今年の9月現在で65歳以上のお年寄りが8,765人住んでいます。このうち88歳の米寿を迎えた人は82人(女性56人、男26人)、95歳以上は37人(女32人、男5人)です。

今年の最高齢者は、100歳の山口タカさん(黒川町椿原)、男性では96歳の大串清好さん(松島町松島)が、去年に引き

が9月10日、2人を訪ねて記念品を贈り、長寿を祝いました。

長寿ベストテンは、次の方々です(9月末現在、敬称略)

- 100歳 山口タカ(黒川町椿原)
- 99歳 松高ソノ(南波多町古里)
- 〃 岡部サヤ(瀬戸町漁港)
- 98歳 大久保ハツ(大川町長野)
- 〃 中尾イヨ(大川町井手口)
- 〃 渡邊リハ(黒川町清水)
- 97歳 川原セン(東山代町滝川内)
- 〃 野口ハル(大川内町小石原)
- 〃 力武トメ(栄町)
- 〃 松尾コト(黒川町福田)



②「命くれない」を熱唱する淵上チヨさん(木須西、78歳)

の九十六歳になられる大串清好さんである。

こちらは長崎市役所・同県庁のOBで旧制鎮西中学野球部のキャッチャーをされていただけにテレビのスポーツ番組が好きで、とくに高校野球は欠かすことなく、また退職後二十六年間、毎日日記をつけておられ、一人で散歩に出たり至極元気で、姿勢も礼儀も正しい方である。

高齢化率を見れば日本の中でも佐賀県が、佐賀県の中でも伊万里市が一番進んでいるようであるが、年をとっても元気で生きがいのある生活ができれば幸せとは言えないので、市役所ではよそに先がけて高齢社会対策室をつくり、雇用・所得の問題から、健康・学習・福祉・社会参加と総合的長寿社会対策大綱をたて、専門部会で具体化を図ることにしているが、すでに来年四月発足予定の「シルバー人材センター」が去る八月二十五日設立発起人会を開いた。

長寿の町づくりは昭和五十四年からの社会総健康運動の一つの柱である。

(竹内)

市単独道路事業に1億5,600万円追加

昭和63年 第3回定例市議会

伊万里市議会第3回定例会が、9月5日から22日まで18日間開かれました。今回の議会には、予算議案8件、条例議案3件、決算議案13件、人事議案2件、その他の議案8件、合わせて34件の議案が提出されました。審議の結果、決算議案（継続審査）を除くすべての議案が原案のとおり可決されました。

継続審査になった決算議案は、今回の議会で設置された二つの決算審査特別委員会で審議されることになりました。

公共施設整備基金を新設 3億円積み立て

一般会計予算は、14億1,171万円を追加して、予算の総額が158億6,201万円になりました。

今回の補正は、足もと道路の整備などに要する事業費の追加や災害復旧事業、公共事業の認証決定に伴う事業費の補正などです。補正の主なものは、次のとおりです。

●中国・大連市からの太極拳指導者、縫製技術研修生の受け入れ事業費320万円 ●佐賀県において第三セクターによる佐賀産業技術センター（仮称）が設立されることに伴う出捐金100万円 ●今後の公共施設整備の財源とするため、年次的に資金を積み立てる公共施設整備基金（新

設）への積立金3億円 ●重度身体障害者住宅改善事業費補助金40万円 ●心身障害児（者）の授産作業所のこすもす村に対する授産事業育成補助金110万円 ●伊万里・有田地区医師会が住民の健康維持増進のため、共同利用のX線画像処理システムを導入する事業に対する補助金1,000万円 ●米の消費拡大を推進するための対策補助金124万円 ●大川・松浦地区の農免農道調査設計事業費1,700万円 ●地元施行の小規模土地改良事業に対する補助金2,000万円 ●市単独の市道維持補修事業費8,400万円、改良舗装、生コン舗装事業費6,000万円、橋りょう改築事業費

1,200万円 ●土地区画整理事業特別会計繰出金755万円 ●国見台公園整備事業費700万円 ●防火水槽新設費補助金200万円 ●小中学校校舎補修工事費1,390万円 ●自治公民館新改築費補助金250万円 ●農地や公共土木施設などの災害復旧事業費1億963万円 ●広域農道、道路改良などの県営事業に対する負担金2億4,130万円

62年度一般会計決算 5億9,463万円の黒字

昭和62年度の各会計の決算議案は、継続審査になりましたが、一般会計は、5億9,463万円の黒字決算となりました。このうち3億円を財政調整基金に積み立て、残りは今回の補正予算の事務事業費の財源として使用しました。

簡易水道特別会計など9特別会計の決算では、休日急患医療センターと土地区画整理事業の二つの特別会計だけが赤字決算となりました。

百歳の生存者が伊万里市にできたので八月十九日に市の百歳記念メダルをお届けした。

その方は黒川町椿原の山口タカさんで、明治二十一年八月二十日の生まれですが、記念メダルを元気でしかも喜んで受け取ってもらったことがなによりうれしかった。

タカさんは編物が好きで、昨年の敬老の日に毛糸をプレゼントしたが、今年の老人クラブの展示会にはその毛糸で編んだ立派なちゃんちゃんこを出しておられた。

また読書が好きで眼鏡なしで源氏物語を読まれるそう

で、記憶力も抜群であり、その風格からは昔がしのばれ、応待もテキパキしておられて楽しく話すことができた。耳が遠いのが残念であるが、長寿のしるしだからやむをえない。

ところで市内の男の方の最長寿は松島町にお住まい





★わが家のPOPOPO★

江口 なおや 直哉くん

(1歳2カ月)

保彦・智子さんの次男

1歳2か月でもうお兄ちゃんになります。少しかわいそうだけどやさしくて、元気なお兄ちゃんになってちょうだいね。

(松浦町上分)

ほほえみひろは

この広場はみなさんのページです。あなたの声をお寄せ下さい。

※申し込みを順次受け付けています。

第20回佐賀県勤労者美術展

知事賞に犬山さん(絵画)と河原さん(写真)

9月に行われた県勤労者美術展に絵画47点、写真57点、書20点、工芸9点の計133点の作品が出品され、伊万里市から犬山さん(絵画)と河原さん(写真)の2人が、見事知事賞を受賞しました。

色弱という絵を描くことにとって致命的と思えるハンディを乗り越え、これまで県展や西日本展、今年4月には中央の東光展と、出品するたびに入賞、入選されています。



新天町3区

犬山 英雄

さん(43)

知人の市美術協会のすすめで3年前から絵を始め、号の大きさもわからない、いわば素人から独学で勉強する一方、美術展などで本物の絵を見て勉強されました。

絵をかきだすときは、タバコをやめたり、コンサートを聴きに行ったりして気持ちをつくっていき、かき始めたら勝負は1週間。一種の興奮状態のなかでかき上げてしまうそうです。

「これまでの色弱ということにひきめを感じていたが、入選してから色で普通の人と勝負ができるという自信がついた。今度は日展入選を目指し、書きものの方にも挑戦してみたい」とさらに意欲を燃やされています。



知事賞を受賞した「はにわ」をテーマとした作品



作品はカラー写真

河原さんの写真歴は、佐世保工専のときからで、かれこれ16年。もともと天体に興味があり、中学生のころ手作りの望遠鏡で星座を観察していたそうです。知事賞を受賞した「トントン合戦」は、集中するほかのカメラストロボの多重光をうまく利用して遅いシャッター速度で巧みにとらえた作品です。河原さんは、これまで新聞社や各地の写真コンテストで推薦や入賞などしていますが、知事賞は初めてです。



木須町木須西

河原 あし 敬

さん(36)

「今は、祭りやポートレートが多いけど、見る人に感動を与えるような風景写真をとりたがうまくとれません。シャッターを押す前のイメージとでき上がりにズレがあり、まだまだです。来年あたり県展に挑戦したいと思っています。写真に限らず絵画などのいい作品を直接見ることが勉強になるけど、伊万里ではほとんど機会がないので残念です」と写真の難しさや今後の抱負などを話されました。

※おわびと訂正…広報いまり9月号の「ほほえ美さん」の中の「瀬戸歯科」は「世戸歯科」

あの人この人 No.74
**少林寺流空手道
 全国大会で2連覇
 馬場 秀和君 (18)**



伊万里学園高校3年の馬場君は、7月末に北海道の旭川市で開かれた第21回少林寺流空手道全日本選手権大会の高校生重量級の部で見事優勝し、去年に続き全国大会2連覇を果たしました。高校生の部での2連覇は大会史上初めての快拳です。

全日本少林寺流空手道連盟の練心館有田善福院支部(橋口光彰師範)に所属する馬場君は、

強さにあこがれて小学1年のときから空手を始め、中学2年からは高校生に交じって組み手の大会に出場。以来実力を発揮し始め、中学3年のとき高校生の全国大会でベスト16に、高校1年でベスト8に、そして2年のとき全国の頂点にたちました。

「得意技は後回しげり。去年までは前回しげりを得意としていましたが、今度の大会ではマークされると思い、半年間は後回しげりを練習、それも連続でうてるよう特訓をしました。そして3連続後回しげりを完成させたのが大会の3日前」だそうで、決勝ではこの秘密兵器で勝利をものにしました。馬場君は陸上部でも活躍。西体連や国見台カーニバルで優勝しています。

「できれば進学して、今度は大学チャンピオンに挑戦したい」と意欲を燃やしています。



野口まゆみさん(18)

松浦町下分(魚座、A型)

社会人1年生で、昭栄電設に勤務しています。ハンバーグとタコ焼きが大好き。会社のおじさんに太っているとわれ、現在ダイエット中で、セロリと牛乳中心(大丈夫かな)。お酒? 変なこと聞かないで、まだ未成年よ。性格は、限りなく明るい一す。結婚は23歳ごろかな。優しく、おもしろい人が…。



**大和は
 国のまほろば…**

伊万里の皆さん、こんにちは。伊万里を離れて、もう25年が過ぎました。奈良県の中央部に位置する大和高田市は商業の町で、特産は靴下です。大阪駅から約40分、自然に恵まれた住みやすい町で人口は約6万人です。



奈良県大和高田市

原 鼎 さん(49)
 和代さん(42)

私は、東山代町日南郷の自然の中で育ち、滝野小中学校を経て昭和33年伊高を卒業し、伊万里市役所に5年間お世話になりました。父の会社設立の関係で広島、岡山、大阪と事務機会社の支店でもまれているうちに妻

(美容室経営)と出会い現在に至っています。

一昨年、娘(現在龍谷大1年生)が大和高田市の姉妹都市であるオーストラリアのリズモー市へ親善交換学生で派遣されましたが、今度は18歳の女の子が私の家に2か月ホームステイしました。明るい性格で現在、ブリスベンの大学で日本語を学んでいると、カタコトの日本語の手紙が届き、国際交流の一端を担えた喜びを感じました。広報いまりを送ってもらっていますが、竹内市長の「せいら」は伊万里市の現在や将来の指標がよくわかります。

愛する伊万里の発展を遠くシルクロードの終点 奈良から祈っています。

の誤りです。おわびして訂正します。

街頭キャンペーン



障害者雇用促進



佐賀県と公共職業安定所、心身障害者雇用促進協会が主催する障害者雇用促進街頭PRが9月2日、雇用促進月間（9月）にあわせて行われました。

街頭PRには関係団体や事業所から約100人が参加し、障害者に働く場をと、障害者の雇用についての温かい理解を呼びかけながら、ユニード前から駅通り、アーケードを通り、玉屋まで行進しました。

今年の3月現在、伊万里・西松浦地区で、伊万里職安に登録されている人のうち286人の障害者がいろいろな事業所で懸命に頑張っています。

米消費拡大

「ごはんをあと1杯たべよう」と街頭キャンペーンが9月9日午後、伊万里商工会館前で行われました。これは、市農業委員会（池田昭八会長）と市米消費拡大推進連絡協議会（会長、竹内市長）が実施したものです。国民1人当たり米消費量は昭和43年100キログラム、61年には73キログラムと減少し、ピークである37年（118キログラム）の約3分の2に落ち込んでいます。

当日は、農業委員や市役所職員、農協職員が鉢巻き姿で、通りがかりの人たちにチラシ500枚を配り、1日あと1杯食べましょと呼びかけました。



伊万里市小中学校 夏季創作品展

子どもたちの夏休みの作品を集めた第24回市小、中学校夏季創作品展が、9月9日から13日まで伊万里玉屋で開かれ、子どもたちが一生懸命に仕上げた工作や図画、習字など、小中学校26校から1,391点の作品と教職員の作品36点が展示されました。

会場を訪れた家族連れや買い物途中の人たちは、自分の子どもの作品や同級生の作品を手にとって、熱心にながめていました。

明日の母親のために

独身や新婚などこれから母親となる女性を対象とした家庭教育学級「明日の親」が、7月27日から伊万里公民館で開かれています。

家庭の意義や妊娠・出産の基礎知識、健康管理と食生活など、これから母親となる女性が家庭生活の中で知っておかなければならない基本的な知識を身につけるための講座で、11月9日まで9回に分けて



第12回市壮年野球大会

レッドピーコックス3連覇

市軟式野球連盟（吉原羊一郎会長）主催の第12回壮年野球大会（出場資格、40歳以上）が9月7日から12日まで国見台野球場で行われました。全試合がナイターで行われ、出場した9チームは、攻守に若々しいプレーを見せました。

今年の決勝戦は、去年同様レッドピーコックス対大川内町体協の間で優勝が争われ、レッドが吉原、弘川両投手の継投で大川内を3対1で下し、大会3連覇を果たしました。3位は、波多津町体協と山代町体協でした。

＜決勝戦＞

レッドピーコックス	102 000	3
大川内町体協	000 001	1

先行のレッドが1回、1番弘川の左前安打と二つの盗塁、四球などで2死1、3塁とし、樋口投手のワイルドピッチで1点先取。さらにレッドは3回2死後、2番向門の中前安打と二つの四球で満塁とチャンスを広げ、5番西尾が2走者を迎え入れる左前タイムリーを打ち、3対0



①3回表レッド2死満塁、5番西尾2点タイムリーを左前に放つ。

とリード。

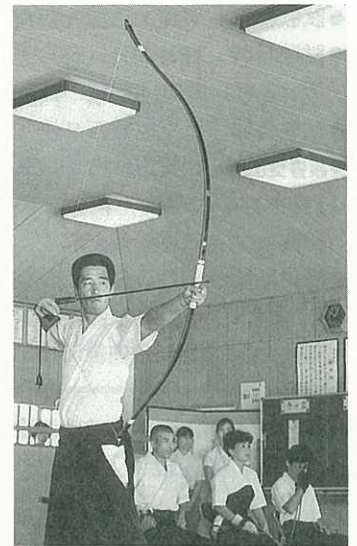
大川内は、3回まで吉原投手に1安打、2四球と抑え込まれていたが、4回から吉原をリリーフした弘川を攻め、6回裏二つの四球と野選などで1死1、3塁としたがスクイズ失敗で2死。そのあと捕逸で1点をあげ、なお2死2、3塁と一打同点の好機を迎えたが、後続なく去年の雪辱ならず。試合は、7回表時間切れで終了。

第6回 正鶴会 弓道選手権大会

第6回伊万里正鶴会弓道選手権大会が9月18日、国見台弓道場で開かれ、市内外から95人の選手が出場し、日ごろの練習の成果を競いました。

成績は次のとおりです（敬称略）

- （男子）優勝 久我 安隆（相知）
 2位 奥 功一郎（佐大）
 3位 大塚 巧（唐津）
 4位 岡幸次郎（佐世保）
 5位 梶原博之（伊万里）
- （女子）優勝 厚地真紀子（佐大）
 2位 吉永由起子（武雄）
 3位 酒見真佐子（ ）
 4位 弟子丸マスヨ（佐賀）
 5位 松尾千代子（ ）



スポーツ教室生徒募集

硬式テニス

- 日 時 10月8日から毎週土曜、日曜日の7日間
- 土曜日 午後2時～4時
- 日曜日 午前9時～11時
- 場 所 国見台庭球場
- 講 師 市硬式テニス協会 指導員
- 申込締切 10月7日（金）
- 参加料 1,500円（保険料、ボール代）

バドミントン

- 日 時 10月13日から毎週月曜、木曜日の9日間
- 午後7時～9時
- 場 所 国見台体育館
- 講 師 市バドミントン協会 指導員
- 申込締切 10月11日（火）
- 参加料 600円（保険料）
- ※申込先 体育保健課（☎2111内線464）



10月16日～22日は 行政相談週間です

私たちの生活は、年金や保険、道路、税金、農地、登記などいろいろな形で行政（役所の仕事）と深くかかわっています。

そのなかで苦情や不満、要望などお持ちの方は、「行政相談員」にお気軽に連絡してください。相談は無料で、秘密は固く守ります。

<伊万里市の行政相談員>

井手敏男^{さん}（新天町☎②4350）

古賀儀七^{さん}（松浦町☎②2727）

危険物取扱者試験

- 試験種類 甲種・乙種・丙種
- 試験日時 11月20日（日）
甲、乙種…9時・丙種…13時
- 試験会場 県立佐賀西高校
- 願書提出先 佐賀市城内1-1-59
（県消防防災課内）消防試験研究センター佐賀県支部
- 受付期間 10月17日～22日
- 問い合わせ先 市消防本部予防課危険物係（☎②4311内線55・56）

環衛公庫の融資

環境衛生金融公庫では、飲食、整容、旅館、クリーニングなどの環境衛生関係の方に、お店の新、増、改築や器具、備品の購入などに必要な設備資金や運転資金を、長期、低利で融資しています。詳しいことは、環境公庫業務部（☎03-582-5416）または県の環境衛生同業組合、環境衛生営業指導センターまで。

模型飛行機大会

- 日時 11月3日 9時受付
- 場所 立花小学校
- 競技種目 ▶小型グライダー（幼児～小学3年）▶A級ゴム動力（小学4年～6年）▶B級ゴム動力（中学生の部と一般の部）
- 主催 竹の子会
- 申込先 田中耕太郎（☎②4572）

小学生消防スケッチ大会

市防火協会（久間平三郎会長）主催で、小学生を対象に消防スケッチ大会が開催されます。

- 日時 10月9日（土）
9時～12時
- ※雨天のときは10月10日
- 会場 市消防本部訓練場
- ※画用紙は防火協会準備。参加賞があります。

特別企画 鍋島藩窯展

大川内山の鍋島藩窯で焼かれた磁器は、市販されることなく、貴重な藩の管理のもとに、將軍家や大名への贈りものや、城中での使用に供されました。

この貴重な鍋島藩の御用焼きの展示会を開催します。

- 展示品 鍋島藩窯磁器と参考品
- 日時 10月15日～12月10日

●場所 市歴史民俗資料館
※期間中は、日曜日、休日も午前9時から午後4時まで開館しています。

- 〔記念講演会〕
- 日時 10月16日 14時
- 場所 中央公民館
- 講師 九州陶磁文化館 学芸員 宇治 章氏
- 演題 鍋島焼きについて

伊万里公民館で ループルの名画展

5月からループル美術館の名画を伊万里公民館に展示していますが、10月から新たな名画20点と交換して展示します。

- 会期 昭和64年3月31日^{まで}
- 場所 伊万里公民館
9時～16時（土曜は12時まで）
- 休館日 日曜、祝祭日、12月29日～翌年の1月3日
- 内容 ミレーの「落穂拾い」ルノワールの「窓辺の少女」などの原寸複製画20点

佐賀県美術展覧会 作品募集

- 資格 県内在住者及び県内の学校に在学する学生・生徒と県内に勤務する者
- 作品 自作、未発表のもの
- 出品数 各部とも1人2点^{まで}
- 部門 日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真、デザイン
- 作品搬入 11月13日10時～16時
- 入選発表 11月18日
- ※詳しいことは、佐賀県教育庁文化課（☎0952②3298）へお尋ねください。

妻たちの年金 人生の節目、節目に年金を

ライフサイクル		加入の資格		
20歳から60歳まで	独身時代	サラリーウーマン	厚生年金などに加入しながら自動的に国民年金にも加入 第2号	
		家事手伝い	国民年金に強制加入 第1号	
	妻の時代	自営業者と結婚	〃	第1号
		サラリーマンと結婚	〃	第1号
		会社に勤めたら	厚生年金に加入しながら自動的に国民年金にも加入	第3号→2号
		自営業をはじめたら	国民年金に強制加入	第3号→第1号
		サラリーマンと結婚	〃	第3号→第1号
		夫が定年退職したら	〃	第3号→第1号
		サラリーマンの夫と死別	〃	第3号→第1号
		会社をやめたら	〃	第2号→第3号

国民年金保険料は確実に納めましょう

国民年金保険料（月額7,700円）は、受給権を確保するため忘れないよう毎月確実に納めましょう。

昭和62年度は、伊万里市で、9,152人が総額で約31億円、1

人当たり平均約33万8,000円の国民年金を受給されています。

うっかり忘れて、せっかくの年金が受けられないということがないように確実に納めるようにしましょう。

今月の市民相談

場所：市民相談室10時～15時

無料・秘密厳守

- 法律 6.20 (木)
- 社会保険 7.14.21.28 (金)
- 交通事故 11.25 (金)
- 行政 19 (水)
- 人権 12 (水)
- 身障者 26 (水)
- 青少年 27 (木)
- 消費生活 3.11.17.24.31 (月)
- 婦人就業 5.12.19.26 (水)

※いじめ、非行などの相談は、土、日、祝祭日を除き青少年センター（☎27867）へ

10月の市民会館行事

- 20日 (木) 13時半 無料
講師 坂東英二 (九電2194)
- 27日 (木) 13時半 無料
第23回交通安全県民大会
- 30日 (日) 9時半 無料
民謡おさらい会 (民謡菊の会)

10月は里親月間

保護者がいなかったり、知事が里親に委託して保護することが適当であると認めた18歳未満の児童を、一時的または継続的に自己の家庭内に預り、養育することを希望される里親の拡大、推進を図っています。

現在佐賀県では、里親として23人が登録され、うち4人の里親に対し10人の児童が委託され、あたたかい家庭の中で養育されています。詳しいことについては、中央児童相談所へお尋ねください。 (☎095221212)

10月1日は法の日

毎年10月1日は「法の日」で、その日から1週間は「法の週間」です。「法の日」は政府が昭和35年6月に毎年10月1日を「法の日」と定め、国をあげて法の尊重、基本的人権の擁護、社会秩序の確立の精神を高めるための日として制定したものです。

法務局や人権擁護委員は「法の日」週間だけでなく、毎日相談を受けています。人権擁護委員の名簿は、市役所だより5月号に掲載していますのでご覧ください。

〈市営住宅〉

入居予備者募集

昭和63年10月1日以降、市営住宅に空家が生じたとき、順次入居していただくための入居予備者を随時募集します。

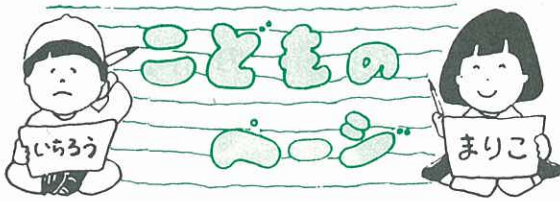
▲募集団地

立花、勝田、大久保、楠久第二、久原、立岩の各団地

▲有効期間

昭和64年3月31日まで

※申し込み用紙は、市建設課住宅係 (☎2111内線333) にあります。



ふみきりで とまっていますか

市統計グラフコンクール

統計に対する親しみを深め、郷土伊万里のこともっとよく知ってもらおうと行われた市統計グラフコンクールに、小、中、高校生 235人から 106点の作品が出品され、9月7日市役所で審査が行われました。

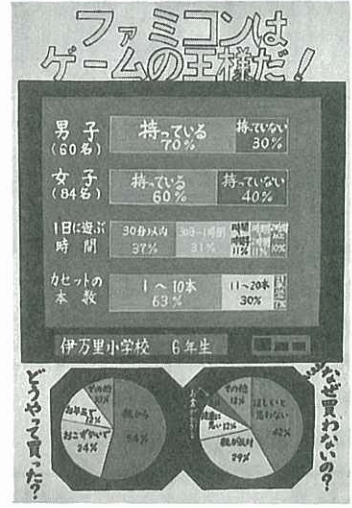
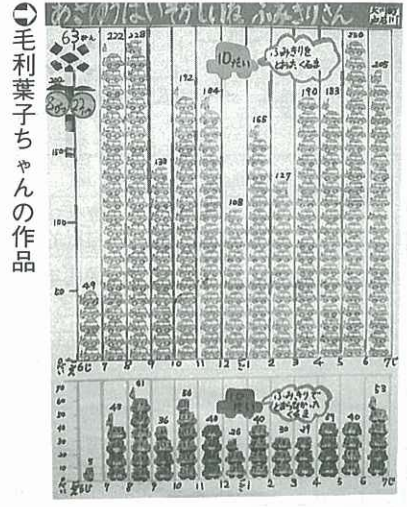
小学校3年生以下の第1部では、朝6時から夕方7時までに踏切を通った車の台数と、いったん停止しなかった車の台数をグラフに表した毛利葉子ちゃんの「あさゆうはいそがしいねふみきりさん」が、小学4～6年の第2部では、ファミコンを持

っている人の数や遊び時間を表した満江徳子ちゃん、名嶋亮子ちゃん、田中真由子ちゃん、山崎美穂ちゃんの4人の合作「ファミコンはゲームの王様だ！」が、中学生の第3部は、少年非行の動向をテーマに美しく仕上げた古賀美保子さん、松尾 要さんの合作「あぶない少年」が特選に選ばれました。高校生の部は出品数も4点と少なく、特選、準特選の作品はありませんでした。

審査員からは「全体的に、貿易の自由化とか高齢化社会など作品のテーマが広がってきました。それにていねいに仕上げてありました」と審査の講評がありました。

入賞作品は、10月15日から22日まで伊万里玉屋に展示されます。準特選以上の作品は次のとおりです。(敬称略)

- <第1部>小学校3年生以下**
- 特選 毛利葉子(大川小1年)
 - 準特選 高木光子(立花小3年)
 - 〃 前田源吾(南波多小3年)
 - 〃 宮崎修一・瀧上佑樹
 - 合作 岩谷香奈子・前田英憲(大川内小1年)



満江徳子ちゃん、名嶋亮子ちゃん、田中真由子ちゃん、山崎美穂ちゃんの作品



古賀美保子さん、松尾要さんの作品

- <第2部>小学校4年生以上**
- 特選 満江徳子・名嶋亮子
 - 合作 田中真由子・山崎美穂(伊万里小6年)
 - 準特選 前田由里(南波多小5年)
 - 〃 小林清美(波多川小5年)
 - 〃 水田登紀子・本多直子
 - 合作 力武香織・梅田順子(伊万里小6年)
- <第3部>中学生**
- 特選 古賀美保子(伊万里中3年)
 - 合作 松尾 要
 - 準特選 吉野靖子(黒川中2年)
 - 〃 井手道子(南波多中3年)
 - 〃 川本美穂・浦田真美
 - 合作 幸島玲子(松浦中2年)